

## 膵癌に対して重粒子線治療を行った患者さんへ

量子科学技術研究開発機構では、膵癌に対して重粒子線治療を行った患者さんの治療計画画像、データを用いて線量増加のためのシミュレーション研究を行いたいと考えています。

この研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」により、対象となる患者さんのお一人ずつに直接説明を行った上で同意をいただく代わりに、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の[問い合わせ先：窓口]へご照会ください。

もし、詳しいことをお知りになりたい場合には、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲で、より詳しい計画書や関連資料を閲覧いただくことができます。

[研究課題名] 膵癌重粒子線治療におけるLET最適化法を用いた線量増加のためのシミュレーション研究

[実施期間] 許可日～2021年12月31日

[研究機関] 量子科学技術研究開発機構 量子医学・医療部門 放射線医学総合研究所およびQST病院

[研究責任者] 篠藤 誠

[研究の目的] 膵癌治療症例の治療計画CT画像と治療計画データを用いた線量増加を行い、リスク臓器の照射線量が実臨床で用いる線量制約を超えないかどうかについてシミュレーションにより検討することです。

[研究の方法・データの利用方法]

### ●対象となる方々

2016年4月から2020年10月までに当院で膵癌に対する重粒子線治療を受けた方の中で、研究にデータを利用させていただくことについての同意が得られている方

### ●利用する情報及び利用方法

2020年10月までに記録された治療計画CT画像、治療計画データを安全管理された電子システムにより集計します。新たな質問や検査はありません。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報は、お名前、住所など患者さんを直接同定できる個人情報を削除し、匿名化した状態で臨床データの解析を行います。

また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。（国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構個人情報保護規程に従い取り扱います。）

[問い合わせ先：窓口]

千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構 量子医学・医療部門

QST病院 篠藤 誠 電話：043-206-3306（平日9:00～17:00）

